

平成 26 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	天蚕振興事業	
事業主体 (連絡先)	安曇野市天蚕振興会 電話 0263-83-3835	
事業区分	(6)イ農業の振興と農山村づくり (3)教育、文化の振興に関する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	1,631,243 円	(うち支援金: 1,223,000 円)

事業内容

- 天蚕を使用したコサージュ教室の開催
12月20日 穂高南小学校 6年生3クラスを対象(生徒81名+先生、+父兄:合計162名)。
- あづみの学校ミュージアムに参加
1月23日堀金小学校、1月27日豊科南中学校。天蚕について、パネル、模型を用いて生徒、父兄に説明した。
- 「やまこの学校」との連携で行った事業
11月2日 卓上機織り機で天蚕入りクリスマス飾りの作製指導と天蚕紬手紡糸の実演を行った。
- ホームページを新しくし、日、英、中対応とした。
- 新製品の製作 ガラ紡で天蚕のきびそを原料とした糸づくりを行った。又その糸を使って製品を作った。



【天蚕コサージュ教室の様子】

【目標・ねらい】

- ①安曇野天蚕の認知度向上。
- ②新たな商品の開発
- ③天蚕糸の需要拡大による従事者の拡大。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載する。

- 穂高南小学校の生徒、父兄、に天蚕の宣伝ができた。
- 堀金小学校、豊科南中学(+父兄)に、地域の宝としての天蚕を学習して頂けた。天蚕幼虫の模型は生徒に大変人気があった。
- 飾り作りは定員10名で10人参加。手紡糸は50人位の観客であった。振興会の活動内容の一部を紹介できた。
- 天蚕振興会の顔となるようなホームページが作成できた。アクセス回数の増加等はまだ不明。
- ガラ紡の温かみある風合い、天蚕の色や特殊な節を持った糸ができた。営業生産までには、効率等要検討。

※自己評価【B】

【理由】諸事業により、天蚕の認知度向上については、確実に成果が上がっている。新製品の開発がいまひとつであり、Bとした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 新商品の生産ルートの確立と販路開拓。
- 百貨店等で企画販売するための新商品アイテムの拡充。
- インターネットを利用した天蚕製品販売の検討。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある